

週 報

1992年7月19日 聖霊降臨節第7主日

卷 13 16号

1992年度教会主題

「復活の主を見る」

聖句 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」語り合った。

ルカによる福音書 24章31節～32節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 交わりを深めつつ、教会の新しい方向を求める。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323、045-833-6616

振替 横浜 9-13994

牧師 秋 吉 隆 雄

て、神の国の早期実現を期待した。諸々の説があるが、決定的な動機は掴めない。聖書記者たちは動機をはっきり記さず、非主体的にウヤムヤのうちに流される「闇」性をユダの罪と伝えているのではないか。人は、この「闇」性に自分の罪を重ね合わせ、ユダに尽きない関心を持たされる。

ユダは神を裏切った極悪人として、悲惨な最後を遂げたとする多くの伝説があり、それらは当然地獄に落ちたと位置付ける。一方、十字架の赦しという人間の救いのために、神が用意した器と位置付けることも可能である。確かなことは、ユダはイエスに逆らって立っていたが、イエスはユダに向かって立っておられた。イエスが十字架の上で「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」と祈られた、神への執り成しの中に置かれていると私は信じる。ユダの「闇」はキリストの福音の「光」に包み込まれている。それが罪深い私たちが赦しに与っている証拠である。

一牧師室から一

イエスを裏切ったイスカリオテのユダは人間の心の「闇」を象徴している。彼は12弟子の1人として選ばれ、神の国のリアリティーを目の前で見ながら、愛と尊敬を表わす接吻を裏切りのしるしとした。この裏切りの動機は何であったのか。お金に潔癖でなかった彼は、イエスに懸けられた賞金を目当てにした。イスカリオテという名から、彼は反ローマの暗殺団員で、ローマからの解放を託したイエスは、神殿当局に殺されることを予知して裏切りに走った。又イエスへの愛と憎しみの交錯する中で、修復できない感情的なズレを生み出していったという心理的理由も考えられる。更に、イエスをドタン場に追い込むことによ